

教科	国語	学年	第2学年
-----------	-----------	-----------	-------------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことばとであらう	6 (書く4)	<p>■詩を体を動かしながら声に出して読んだり、日記を書いたりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。</p>			
ちいさい おおきい	2	<p>△語を動かしたり、声の大きさを工夫しながら、楽しく読もう。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。</p> <p>⇒知技(1)ア</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク</p> <p>△場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(【知識及び技能】(1)ク)</p>	<p>「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】B)エ</p>	<p>読んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
(どんな まみかたを するか かんがえて、こえに 出して たのしみう。)					
つづけて みよう 一日記	4 (書く4)	<p>■毎日の生活を振り返り、日記を書く。</p> <p>△長音、拗音、促音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方や理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を混用し、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア</p> <p>■日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)イ</p> <p>☆生活科：観察日記を書く活動に生かすことができる。</p>	<p>長音、拗音、促音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)ウ)</p>	<p>「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】B)ア</p>	<p>積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。</p>
声の ものさしを つかおう	3 (話す聞く3)	<p>○いろいろな場面で、話や声の大きさを考えて、気をつけて話すことの大切さに気づく。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ</p> <p>○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア</p> <p>○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えると。 ⇒思判表A(1)ウ</p> <p>○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ</p> <p>○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらに関して声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア</p>	<p>音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(【知識及び技能】(1)イ)</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】A)ウ</p>	<p>積極的に声の大きさや速さなどを工夫し、学習の見通しをもって話そうとしている。</p>
一とどうしよう人物の した ことに 気をつけて 読もう	13 (話す聞く3)	<p>□登場人物の様子を思いながら読み、くまの子になつたつもりで音読する。</p>			
「えい」		<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。</p> <p>⇒知技(1)ア</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク</p> <p>○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ク</p> <p>○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらに関して声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳：B感謝 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。</p>	<p>○【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(【知識及び技能】(1)ク)</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】A)エ</p> <p>「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(【思考力、判断力、表現力等】C)イ</p> <p>「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】C)エ</p>	<p>読んで場面の様子や登場人物の行動などに集中して聞き、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
ひろい 公園	2 (話す聞く2)	<p>○質問を落とさないように聞き、絵から答えを探す。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。</p> <p>⇒知技(1)ア</p> <p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア</p> <p>○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えると。 ⇒思判表A(1)ウ</p> <p>○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ</p> <p>○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ</p> <p>○尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 ⇒思判表A(2)イ</p>	<p>○【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】A)エ</p>	<p>積極的に自分が聞きたいことを落とさないように聞き、学習課題に沿って質問に答えようとしている。</p>
漢字の ひらば ① 画と 書きじゅん	2	<p>△漢字の画と筆順について理解し、正しく書く。</p> <p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p>	<p>前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ)</p>		<p>積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見通しをもって正しい筆順で漢字を書くようとしている。</p>
一年生で 学んだ 漢字 ①	2 (書く2)	<p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア</p> <p>■語と語や文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】B)ア</p>	<p>積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書くようとしている。</p>	
二 じゅんじよに 気をつけて 読み、つながりを見つめよう	13 (書く3)	<p>□ありとの関わりで気をつけながら、すみれが仲間を増やす仕組みについて説明した文章を読む。</p>			
すみれと あり		<p>△文の中における主題と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>■語と語や文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>□時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)ア</p> <p>□文章の中心重要な語や文を考えて選び出すこと。 ⇒思判表C(1)ウ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>□事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 ⇒思判表C(2)ア</p> <p>☆生活科：順序に気をつけて観察などをまとめる。</p>	<p>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)</p>	<p>「書くこと」において、語と語や文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)ウ</p> <p>「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(【思考力、判断力、表現力等】C)ア</p> <p>○【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選んでいる。(【思考力、判断力、表現力等】C)ウ</p>	<p>読んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって文章にまとめようとしている。</p>
「言葉あそび」を しよう	2	<p>△平仮名四十七文字を全て使った歌のあることを読み、音読する。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。</p> <p>⇒知技(1)ア</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク</p> <p>△長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。 ⇒知技(3)イ</p>	<p>語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(【知識及び技能】(1)ク)</p> <p>長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(【知識及び技能】(3)イ)</p>	<p>読んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこととし、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>	

<p>かたかなで 書く 言葉</p>	<p>3 △片仮名で書く言葉の種類を知り、正しく使い分ける。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を打ち、書くとともに、片仮名で書く言葉の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒③知技(1)ウ △身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	<p>片仮名で書く言葉の種類を知り、文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)</p>	<p>積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書くこととしている。</p>
<p>三本でしらべて しようかいしよう</p>	<p>8 (書く6) △図書館で本を探す方法を知り、生き物について調べたことからクイズを作る。</p>	<p>読書を楽しむ。いろいろな本があることを知っている。(〔知識及び技能〕(3)エ)</p>	<p>積極的に読書を楽しみ、学習の見直しをもって本の探し方を知らそうとしている。</p>
<p>図書館で 本を さがそう</p>	<p>2 △図書館に行き、自分が調べたり読んだりしたいテーマの本を探して、読む。 △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒知技(1)カ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒③知技(2)ア □文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。⇒③思判表C(1)ウ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ □学校図書館などを利用して、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。⇒思判表C(2)ウ</p>	<p>読書を楽しむ。いろいろな本があることを知っている。(〔知識及び技能〕(3)エ)</p>	<p>積極的に読書を楽しみ、学習の見直しをもって本の探し方を知らそうとしている。</p>
<p>「生きものクイズ」を作ろう</p>	<p>6 (書く6) △生き物について知りたいことを調べ、クイズを作る。 △身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒③知技(2)ア △読書を楽しむ。いろいろな本があることを知っている。⇒知技(3)エ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒③B 思判表(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒③思判表B(1)イ ■語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすること。⇒思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けすること。⇒思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことを書く活動。⇒思判表B(2)ア ☆生活科など：題材は生活科で学んだ生き物から選ばせることもできる。</p>	<p>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア)</p>	<p>積極的に必要な事柄を集めたり確かめたりして、学習の見直しをもって「生きものクイズ」を作ろうとしている。 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)</p>
<p>漢字の ひらば ② なかまの 言葉と 漢字</p>	<p>2 △意味をもとに仲間に分けた漢字について理解する。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒③知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	<p>前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)</p>	<p>積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見直しをもって漢字の意味のつながりを知らそうとしている。</p>
<p>うれしく なる 言葉</p>	<p>4 (書く2) △言葉が表す意味と、その言葉にこめられる気持ちについて考え、話し合う。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒③知技(1)ア △身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ △身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア □伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒③思判表A(1)ウ □尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。⇒思判表A(2)イ</p>	<p>言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)</p>	<p>積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付く。学習の見直しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。</p>
<p>回 くりかえしに 気を つけて、とうじょう人物の 様子 を 読もう</p>	<p>15 (書く3) □繰り返して出てくる言葉に気をつけて読み、繰り返しのあるお話を作る。</p>	<p>語のまとまりや言葉の書きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)</p>	<p>読んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って好きな場面を発表しようとしている。</p>
<p>きつねの おきゃくさま</p>	<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒③知技(1)ア △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒知技(1)カ △語のまとまりや言葉の書きなどに気を付けて音読すること。⇒③知技(1)ク ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けすること。⇒思判表B(1)オ □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。⇒思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒③思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ □読み聞かせを聞いた物語などを読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ ☆生活科：身近な生き物などを登場人物にした物語を作り、友達に紹介する。 ☆道徳：D 生命の尊さ 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。</p>	<p>語のまとまりや言葉の書きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)</p>	<p>読んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)</p>
<p>いなばの しろうさぎ</p>	<p>5 △古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。 △昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くこと。⇒③知技(3)ア ☆生活科：地域に伝わる昔話や神話・伝承などを調べ、興味をもつ。 ☆道徳：C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。</p>	<p>昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くこととして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(〔知識及び技能〕(3)ア)</p>	<p>読んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。</p>
<p>「かんさつ発見カード」を書こう</p>	<p>4 (書く4) ■観察して同じところや違うところを見つけ、「かんさつ発見カード」を書く。 △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒③知技(1)カ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒③知技(2)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒③思判表B(1)イ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことを書く活動。⇒思判表B(2)ア ☆生活科：観察カードを書く活動などに生かすことができる。</p>	<p>文の中における主語と述語との関係に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)カ)</p>	<p>「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)</p>
<p>「言葉のなまがまがしゲーム」をしよう</p>	<p>2 △言葉が体系的にもって存在していることに気づき、上位語・下位語の概念に基づいて、言葉を探したりまとめたりすることができる。 △身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。語彙を豊かにすること。⇒③知技(1)オ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p>	<p>身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p>	<p>積極的に言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。学習の見直しをもって言葉の種類を分けるようとしている。</p>
<p>話したいな、聞きたいな、夏休みのこと</p>	<p>5 (話す聞く5) ○夏休みの思い出を、順序を考えて話す。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒③知技(1)ア △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くこととともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒③知技(1)イ ■身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア □相手に伝えるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。⇒③思判表A(1)イ □伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ □話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒思判表A(1)エ □紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア</p>	<p>姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、相手に伝えるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ)</p>

<p>ないた赤おに</p>	<p>7</p> <p>△登場人物の気持ちの移り変わりを考えながら、「ないた赤おに」を読み、心に残ったことを話し合う。</p> <p>△文中における主題と読者の関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ △語のままとりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク △場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ △場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ △文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ △文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>△読み聞かせを聞いた物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳：B友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと。</p>	<p>語のままとりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)</p>	<p>「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)カ</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)オ</p> <p>「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)カ</p>
<p>「お話しじゅつかん」を作ろう</p>	<p>5</p> <p>△自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介する。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ⇒知技(3)エ △場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ △場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ △文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ △文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>△学校図書館などを利用して、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。 ⇒思判表C(2)ウ</p>	<p>読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(〔知識及び技能〕(3)エ)</p>	<p>「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)カ</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)カ</p>
<p>話し合い</p>	<p>8 (話し開く8)</p> <p>△話し合いでクラスで行う遊びを決め、「クラスお楽しみ会」を開く。</p>		
<p>「クラスお楽しみ会」をひらこう</p>	<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)イ △相手に伝えるように、行動したことや経験したことを基に、話す事柄の順序を考えること。 ⇒思判表A(1)イ △伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ク △話し手からせいかいすることや自分が聞きたいことをはっきりと集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ △互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 ⇒思判表A(1)オ △尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 ⇒思判表A(2)イ</p>	<p>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(〔思考力、判断力、表現力等〕A)オ</p> <p>積極的に話者に親しみ、学習の見直しをもって学習を生かして少人数で話し合うようとしている。</p>
<p>みじかい言葉で</p>	<p>5 (書く5)</p> <p>■心が動いたことを短い言葉で書く。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)イ △相手に伝えるように、行動したことや経験したことを基に、話す事柄の順序を考えること。 ⇒思判表A(1)イ △伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ク △話し手からせいかいすることや自分が聞きたいことをはっきりと集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ △互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 ⇒思判表A(1)オ △尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 ⇒思判表A(2)イ</p>	<p>言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、話や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとりや分けるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ</p> <p>積極的に話や文と文との続き方に注意しながら、学習の見直しをもって心が動いたことを短い言葉で書くようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ④ 漢字のつかい方と読み方</p>	<p>2</p> <p>△漢字の使い方を読み方、意味などを考えて漢字を正しく使う。</p> <p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を覚えること。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うこととともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p>	<p>当該学年までに配当されている漢字を覚えている。(〔知識及び技能〕(1)エ)</p>	<p>積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見直しをもって漢字を正しく使おうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ④ 1年生で学んだ漢字 ③</p>	<p>2 (書く2)</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を覚えること。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うこととともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)イ △自分自身の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ △語や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとりや分けるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ △簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、話や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとりや分けるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、話や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとりや分けるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、話や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとりや分けるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、話や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとりや分けるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ</p>
<p>五 わかりやすくせつめいするための、くふうをたしかめよう</p>	<p>19 (書く10)</p> <p>■説明の順序を正しく捉えながら読み、おもちゃの作り方を説明する。</p>		
<p>「しかげ絵本」を作ろう</p>	<p>12 (書く3)</p> <p>△説明の順序に気がつけながら、「しかげ絵本」の仕組みや作り方を書いた文章を読む。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ △語や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとりや分けるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ △時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)ア △文章の中の重要な語句や文を考えて選び出すこと。 ⇒思判表C(1)ク △文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ △文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>■身近なことを経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア △事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 ⇒思判表C(2)ア</p> <p>☆生活科・図工：順序に気がつけて作業の手順を説明する文章を書く。</p>	<p>言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)</p>	<p>「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)イ</p> <p>「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)ア</p> <p>「読むこと」において、文章の中の重要な語句や文を考えて選び出している。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)ク</p>
<p>おもちゃのせつめい書を書こう</p>	<p>7 (書く7)</p> <p>■おもちゃの作り方や遊び方の順序を考えて、説明書を書く。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア △経験したことを想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア △自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ △語や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとりや分けるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ △文章を読み返す習慣を付けることとともに、間違いを正したり、語や文と文との続き方を確かめたりすること。 ⇒思判表B(1)エ △文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ △身近なことを経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>☆生活科：題材は生活科で扱ったおもちゃから選ぶことができる。</p>	<p>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア)</p>	<p>「書くこと」において、話や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとりや分けるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ</p> <p>「書くこと」において、間違いを正したり、語や文と文との続き方を確かめたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)エ</p> <p>「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けていることとともに、間違いを正したり、語や文と文との続き方を確かめたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)オ</p> <p>積極的に文章を読み返して感じたことや分かったことを共有し、学習の見直しをもって想像したことを発表しようとしている。</p>
<p>しを認もう せいかいじゅうの海が</p>	<p>2</p> <p>△イメージの自由な広がりをおして、詩を楽しむ。</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)イ △相手に伝えるように、行動したことや経験したことを基に、話す事柄の順序を考えること。 ⇒思判表A(1)イ △伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ク △話し手からせいかいすることや自分が聞きたいことをはっきりと集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ △互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 ⇒思判表A(1)オ △尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 ⇒思判表A(2)イ</p>	<p>身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のままとりや分けることに気付く。語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)イ)</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)カ</p> <p>積極的に文章を読み返して感じたことや分かったことを共有し、学習の見直しをもって想像したことを発表しようとしている。</p>

六 場面や人物の様子をくわしく読もう	11 (話す聞く3)	口の様子を詳しく読んで、読み方を工夫して音読発表会を開く。			
かさこじぞう		<p>身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、読解を豊かにすること。 ⇒知技(1)イ</p> <p>△語句のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読すること。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ⇒知技(3)ア</p> <p>○伝えたい事情や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ</p> <p>○話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それら聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んで語り、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳：C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。</p>	<p>語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(【知識及び技能】(1)ウ)</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと」において、伝えたい事情や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】A)</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】C)</p> <p>【読むこと】において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(【思考力、判断力、表現力等】C)</p>	<p>読んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会を行うとしている。</p>	
むかしのおそび	3	<p>△日本に古くから伝承されている昔遊び(正月遊び)を知り、実際に遊ぶことを通してその魅力を知る。 ⇒知技(3)イ</p> <p>△昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ⇒知技(3)イ</p> <p>△長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさや面白さに気付くこと。 ⇒知技(3)イ</p>	<p>○【知識・技能】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさや面白さに気付いている。(【知識及び技能】(3)イ)</p>	<p>【態度】遠くで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさや面白さに気付くこと、学習の見通しをもって楽しむようとしている。</p>	
むかしのおそびをせつめいしよう	4 (話す聞く4)	<p>○昔の遊びについて、遊び方を調べて説明する。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ</p> <p>○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事情を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア</p> <p>○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ⇒思判表A(1)イ</p> <p>○伝えたい事情や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ</p> <p>○話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ</p> <p>○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それら聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア</p>	<p>姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(【知識及び技能】(1)イ)</p> <p>【話すこと・聞くこと】において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】A)</p>	<p>遠くで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を基として昔の遊びの遊び方を説明しようとしている。</p>	
主語とじゅつ語	3	<p>△文を読んで、主語と述語の対応を考え、正しく使うことができる。</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p>	<p>文の中における主語と述語との関係に気付いている。(【知識及び技能】(1)カ)</p>	<p>積極的に文の中における主語と述語との関係に気付くこと、学習の見通しをもって文を正確に読んだりしようとしている。</p>	
漢字の広場 ⑥ 同じ読み方の漢字	2	<p>△同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。</p> <p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p>	<p>当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(【知識及び技能】(1)エ)</p>	<p>積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。</p>	
七 じゅんじよに気をつけて書くこと	13 (書く13)	<p>■したことや身のまわりのできごとの中から書くことを見つけた、思い出して、順序を考えて書く。</p>			
こんなことができるようになったよ		<p>△長音、抑音、促音、韻音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文に慣れること。 ⇒知技(1)キ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見つけた、必要な事情を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすること。 ⇒思判表B(1)エ</p> <p>■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことや書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>長音、抑音、促音、韻音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>【書くこと】において、語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を確かめたりしている。(【知識及び技能】(1)ウ)</p> <p>【書くこと】において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりしている。(【思考力、判断力、表現力等】B)</p> <p>【書くこと】において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(【思考力、判断力、表現力等】B)</p>	<p>積極的に、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりし、学習の見通しをもって文章を書くようとしている。</p>	
昔や様子をあらわす言葉	3	<p>△長音、抑音、促音、韻音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、読解を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ</p>	<p>身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、読解を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)ウ)</p>	<p>積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、学習の見通しをもって文章を書くようとしている。</p>	
漢字の広場 ⑥ 組み合わせてできている漢字	2	<p>△同じ部分をもつ漢字を集め、漢字を正しく使う。</p> <p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p> <p>■語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすること。 ⇒思判表B(1)エ</p> <p>■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(【知識及び技能】(1)エ)</p>	<p>積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。</p>	
漢字の広場 ⑥ 一年生で学んだ漢字 ①	2 (書く2)	<p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文章を書く。</p> <p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p> <p>■語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすること。 ⇒思判表B(1)エ</p> <p>■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>前学年や当該学年に配当されている漢字を学んで読んでいる。(【知識及び技能】(1)エ)</p>	<p>積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文章を書くようとしている。</p>	
八 場面の様子や登場人物の行動に気をつけて読もう	16 (書く4)	<p>口お話の順序に気をつけて読み、あらすじをまとめて紹介する。</p>			
アレクサンダーとゼムまいおすみ		<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞したことや書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んで語り、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳：B 友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと。</p>	<p>言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア)</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】B)</p> <p>【読むこと】において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】C)</p> <p>【読むこと】において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(【思考力、判断力、表現力等】C)</p>	<p>読んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。</p>	

<p>国語の学習 これまで これから</p>	<p>2 (話す聞く、書く)</p>	<p>◎■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。</p> <p>◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒ 思判表A(1)ア</p> <p>◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒ 思判表A(1)エ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒ 思判表B(1)ア</p> <p>■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒ 思判表B(1)オ</p> <p>◎紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒ 思判表A(2)ア</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きたころを書く活動。 ⇒ 思判表B(2)ア</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。((思考力、判断力、表現力等)Aエ)</p> <p>「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)Bア)</p>	<p>進んで経験したことから書くことを見付け、これまでの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。</p>
------------------------	------------------------	--	---	---

教科 算数 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学びのとり	1	算数科の学び方、問題解決の方法やノートをつくり方を共有したり、教科書の使い方を確認したりして、学びながら数学的表現を有効に活用して、主体的、対話的で深い学びを築きあげようとする。				
1. わかりやすくあらわそう【グラフとひょう】	3	簡単なグラフや表について理解し、データを整理する観点を含め、簡単なグラフや表を通じて物事を伝え、考察する力を養うとともに、グラフや表を用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	身の回りにある数量を分類整理し、簡単なグラフや表を用いて表したり読み取りたりすることができる。	データを整理する観点に着目し、身の回りの事象についてグラフや表を用いて考察している。	身の回りの事象に関心をもち、グラフや表を用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
2. たし算のしかたをを考えよう【たし算のひっ算】	8	2位数の加法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考え方を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2位数の加法計算が、1位数の加法についての基本的な計算を基にしていることを理解し、その計算が連続してできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	数の仕組みに着目し、2位数の加法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	2位数の加法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
3. ひき算のしかたをを考えよう【ひき算のひっ算】	8	2位数の減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考え方を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2位数の減法計算が、1位数の減法についての基本的な計算を基にしていることを理解し、その計算が連続してできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	数の仕組みに着目し、2位数の減法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	2位数の減法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
どんな計算になるのかな?	2	2位数の加減法を適用して問題を解決することを通じて、演算を決定する能力を伸ばす。	適切な立式をして、問題を解決することができる。		既習を活用して、どのような式で解決すればよいかを考えようとしている。	
おぼえているかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。			
4. 長さをはかろう【長さのたんい】	9	長さの測定などの活動をを通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについて量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、測定の目盛りの仕組みを理解し、およその見当をつけながら量の感覚を身に付けるとともに、長さについて適切な理由で身の回りに入る人物に入る水の体積を測定することができる。	普通単位の必要性に気づき、身の回りのもとの特徴を長さに着目して伝え、目的に応じた単位で長さの量を表現したり、比べたりしている。	身の回りに入るもの長さに関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
5. 100より大きい数をしらべよう【3けたの数】	12	1000までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考え方を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読みたり、数や式の大小、相対関係を、不等号や等号を用いて表しすることができる。	10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数や相対的な大きさを考えたりしている。	10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
6. 水のかさをはかろう【水のかさのたんい】	8	体積について、測定などの活動をを通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、体積について量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	体積について単位と測定の意味や、単位の関係、測定の目盛りの仕組みを理解し、およその見当をつけながら量の感覚を身に付けるとともに、体積の単位を適切に選択して身の回りに入る人物に入る水の体積を測定することができる。	長さの学習を基に、普通単位の必要性に気づき、身の回りに入る人物に入る水の体積に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	身の回りに入る人物に入る水の体積に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
おぼえているかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。			
7. 時刻を生きて生かそう【時とく】	2	時刻と時間の概念、日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考えられる力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	時刻と時間の区別、及び日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、時刻や時間の求め方を表したりすることができる。	時間の単位に着目し、図などを用いて時刻と時間の求め方を考え、説明している。	時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
おぼえているかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。			
8. 計算のしかたをくふうしよう【計算のくふう】	5	加法の結合則、簡単な加法の筆算の仕方を理解するとともに、加法計算についての理解を深め、計算の仕方を式や図や表で考えられる力を養うとともに、計算規則、数の読みや構成を用いて計算方法を考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	加法の結合則や()の使い方を理解するとともに、簡単な加法の筆算の仕方を理解することができる。	()の中につくことと、式の意図を考え、表現したり場面式で表したりすること、3口の数の加法計算について、数の関係に着目し、結合則などを基に工夫して計算している。	加法の計算方法について、計算規則、数の読みや構成を活用して考えた過程や結果を振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
9. ひっ算のしかたをを考えよう【ひっ算とひき算のひっ算】	10	筆算の筆算を基に、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考え方を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2位数の加法及びその逆の減法の筆算について、1位数などの基本的な計算を基にしていることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、筆算手順を基に確実に計算することができる。	筆算の筆算を基に、数の仕組みに着目し、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	2位数の加法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
10. さんかくやしかくの形をしらべよう【長方形と正方形】	10	平面図形に連んで関わり、図形についての概念や性質を身に付け、三角形、四角形などの構成要素がわかるための基礎的な理解を深め、図形を構成する要素に着目してとらえる力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	三角形や四角形、直角、長方形、正方形、五角形などの意味や性質を理解するとともに、結合して五角形や六角形、多角形などを作図したりすることができる。	辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を思いだし、説明している。	身の回りに入るもの形の中から、三角形や四角形、長方形や正方形などの形を見つけ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
11. 新しい計算を考えよう【かけ算(1)】	22	乗法の意味について理解し、計算の仕方を考えたり乗法に關して成立し性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に關して成立し性質(乗数が1ずつ増えるときの積の増え方)を理解し、乗法九九(6, 7, 8, 9の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。	数量の関係に着目し、累加の考えや乗数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現している。	数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
九九ピロ	1	かけ算九九を活用して九九ピロに取り組み、かけ算九九の習得を図る。			かけ算九九を活用して、九九ピロに取り組みようとしている。	
12. 九九をつくらう【かけ算(2)】	17	乗法の意味について理解を深め、計算の仕方を考えたり乗法に關して成立し性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	乗法九九について知り、乗法に關して成立し性質の理解を深めるとともに、乗法九九(1から9までの段)や積、商で表したり、乗法九九(6, 7, 8, 9の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。	数量の関係に着目し、乗法について成立し性質や乗数と積の関係に着目し、乗法九九の構成の仕方を考えたりしている。	数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
おぼえているかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。			
13. 1000より大きい数をしらべよう【4けたの数】	11	10000までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考え方を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	4位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読みたり、数や式の大小、相対関係を、不等号や等号を用いて表しすることができる。	数のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数や相対的な大きさを考えたりしている。	数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
14. 長い長さをはかろう【長いものの長さのたんい】	8	長いものの長さの測定などの活動をを通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについて量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、測定の目盛りの仕組みを理解し、およその見当をつけながら量の感覚を身に付けるとともに、長さについて適切な理由で身の回りに入る人物に入る水の長さの量を測定することができる。	上位単位の必要性に気づき、身の回りのもとの特徴を長さに着目して伝え、既習の学習を基に長いものの長さを表す単位を適切に選んで考えたりしている。	身の回りに入るもの長さに関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
15. 図をつかて考えよう【たし算とひき算】	5	加法と減法の相互関係について理解し、数量の関係に着目し、場面を適切に構図で表せる力を養うとともに、加法と減法の相互関係を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	加法と減法の相互関係について理解し、加法と減法の相互関係を表した図を用いて、図や式で表し、問題を解決することができる。	数量の関係に着目し、場面を適切に構図で表せることを図や式で表している。	加法と減法の相互関係に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
16. 分けた大きさのあらわし方をしらべよう【分数】	5	1/2や1/3などの簡単な分数について知り、同じ大きさに分けるという操作に着目して分けた大きさの割合や割合の関係を、分数の形で表し、分数の意味について理解し、分数の読みや構成を用いて考えられる力を養うとともに、分数の読みや構成を用いて計算方法を考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	具体物を操作することによって、1/2や1/3などの簡単な分数について知り、同じ大きさに分けた大きさの割合や割合の関係を、分数の形で表し、分数の意味について理解し、分数の読みや構成を用いて考えられる力を養うことができる。	元の大きさと分けた大きさの関係や、分けた大きさを全て等しいことに着目して分けたことと等しいことと、割合の関係を基に、分けた大きさや割合の関係を表すことができる。	具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
おぼえているかな?	-	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。			
17. はこの形をしらべよう【はこの形】	5	箱の形をしたものを観察したり作ったりする活動を通して、正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、図形を構成する要素に着目してとらえる力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	箱の形をしたものの構成要素について理解し、正方形や長方形を組み合わせて、ひしこなどを用いたりして、箱の形を構成することができる。	頂点、辺、面などの図形を構成する要素に着目し、箱の形の特徴を思いだし、説明している。	身の回りに入るもの形の中から、箱の形したものを見つけ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
計算だらっど	2	既習内容を総合的に適用して問題を解決することを通じて、問題解決の能力を伸ばす。	既習内容に関する問題を解決することができる。		計算だらっどに同じ数を入れたときのきまりについて考え、説明している。	
2年のおくしゅう	4	既習内容の理解を確認する。	既習内容に関する問題を解決することができる。			

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
春だ 今日から 2年生	6	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や地域の人や場所の働きを見つけ、季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気付く、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとすることができるようにする。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節ごとに自然が変化していることや、季節に応じて自分たちの生活が変化していることに気付いている。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や特徴を探したり、地域の人や場所の働きを見付けたりしている。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとしている。	
ぐんぐん そだて わたしの 野菜	10	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験に基づき、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。	
どきどき わくわく まちたんけん	10	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分の関わりを見つけ、地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようすることができるようにする。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けている。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。	
生きもの なかよし 大作せん	10	動物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、動物への親しみをもち、生き物を大切にしようすることができるようにする。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、生命をもっていることに気付いている。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもち、生き物を大切にしようとしている。	
うごくうごく わたしの おもちゃ	12	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。	
みんなで つかう まちの しせつ	6	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようすることができるようにする。	○公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使う物があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。	○公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。	○公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切に、正しく安全に利用しようとしている。	
もっと なかよし まちたんけん	12	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見つけ、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようすることができるようにする。	○地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。	○地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。	○地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。	
つながる 広がる わたしの 生活	12	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようすることができるようにする。	○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。	○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。	

教科	体育	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動遊び	5	<ul style="list-style-type: none"> みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動遊びの行い方がわかる。 手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己の心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒に進むと楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を選んで選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 体を動かすと気持ちがいいことや汗が出ることなどの気付いたことを言葉で表したり、気持ちを表すカードなどを用いたりして、友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動遊びに進んで取り組んでいる。 順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
多様な動きをつくる運動遊び	16	<ul style="list-style-type: none"> バランスをとったり、体を移動したり、物を使ったり、力試しをしたりする、いろいろな動きを楽しむ。 動きを考えたり友達の考えた動きに挑戦したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な動きをつくる運動遊びの行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動遊び <ul style="list-style-type: none"> 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動遊びを通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 (イ)体を移動する運動遊び <ul style="list-style-type: none"> 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動遊びや一定の速さでのかけ足などの運動遊びを通して、様々な行い方で体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動遊び <ul style="list-style-type: none"> 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗るなどの動きで構成される運動遊びを通して、用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ)力試しの運動遊び <ul style="list-style-type: none"> 人を押す、引く、運ぶ、支えるなどしたり、力比べをしたりするなどの動きで構成される運動遊びを通して、力を出しきったり、力を入れたり緩めたりする力試しの動きを身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒に進むと楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を選んで選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 友達の動きを見て見付けたよい動きや、行ってみたいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 用具の大きさや種類を変えたり、様々なやり方を試したりして選んだ行い方を、動作を交えながら友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組んでいる。 順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
固定施設遊び	2	<ul style="list-style-type: none"> 固定施設のいろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 固定施設を使った運動遊びの行い方がわかる。 〇ジャングルジムを使った運動遊び <ul style="list-style-type: none"> 登り下り、渡り歩き、逆さの姿勢などをすることができる。 〇雲梯を使った運動遊び <ul style="list-style-type: none"> 懸垂移行や渡り歩きなどをすることができる。 〇登り棒を使った運動遊び <ul style="list-style-type: none"> 登り下りや逆さの姿勢などをすることができる。 〇平均台を使った運動遊び <ul style="list-style-type: none"> 渡り歩きや跳び下りなどをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの固定施設を使って、楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え、選んでいる。 友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 固定施設遊びに進んで取り組んでいる。 順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

令和4年度 評価規準

※「表現リズム遊び」「ゲーム(〇〇ゲームなど)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

<p>マット遊び</p>	<p>4</p>	<p>・マットを使っているいろいろな遊びをする。</p>	<p>・マットを使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ゆりかご、前転がり、後ろ転がり、丸太転がりなど。 ・マットに背中や腹をつけて揺れたり、いろいろな方向に転がったりすることができる。 ○背支持倒立(首倒立)、うさぎ跳び、かえるの足打ち、かえるの逆立ち、壁登り逆立ち、支持での川跳び、ブリッジなど。 ・手や背中で体を支えているいろいろな姿勢で逆立ちしたり、移動したり、体を反らしてブリッジをしたり、友達がつくったブリッジをくぐったりすることができる。</p>	<p>・複数のコースでいろいろな方向に転がることのできるような場を選んだり、動物に変身して行う運動遊びの中から動物の動きを選んだりしている。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。</p>	<p>・マット遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・転がったりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。</p>
<p>鉄棒遊び</p>	<p>4</p>	<p>・いろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。</p>	<p>・鉄棒を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ふとん干し、こうもり、さるなど。 ・腹や膝、手でぶら下がったり、揺れたりすることができる。 ○つばめ ・体を伸ばし手で支えバランスをとって止まることができる。 ○跳び上がりや跳び下り ・跳び上がって支持して下りたり、支持の姿勢で体を揺らして後ろに跳び下りたりすることができる。 ○前回り下り、足抜き回り ・支持の姿勢から体を丸めて前に回って下りたり、両手でぶら下がって前後に足抜き回りをしたりすることができる。</p>	<p>・手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして遠くへ跳ぶ競争をしたりするなど、自分の力に合った楽しくできる遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。</p>	<p>・鉄棒遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。</p>
<p>跳び箱遊び</p>	<p>5</p>	<p>・いろいろな跳び方で跳んだり、跳び方を工夫したりして楽しむ。</p>	<p>・跳び箱を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○踏み越し跳び ・片足で踏み切って跳び箱に跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○支持でまたぎ乗り・またぎ下り、支持で跳び乗り・跳び下り ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いてまたぎ乗ったり、またいだ姿勢で手を支点に体重を移動させてまたぎ下りたりすることができる。 ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いて両足で跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○馬跳び、タイヤ跳び ・両手で支持してまたぎ越すことができる。</p>	<p>・跳び乗った後、手を叩いたり、回ったりなど自分の力に合った着地の仕方を考え、選んでいる。 ・友達のよい跳び方を擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。</p>	<p>・跳び箱遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、マットや跳び箱などの器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。</p>
<p>かけっこ・リレー</p>	<p>6</p>	<p>・いろいろなジグザグコースを作って走ったり、友達と競走したりする。</p>	<p>・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・まっ直ぐなところや蛇行したところを調子よく走ることができる。 ・相手の手の平にタッチをしたりして走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。</p>	<p>・ジグザグ走のコースや折り返しリレーのコースを工夫して作っている。 ・ジグザグ走の感想や走り方のポイント、友達のよい走り方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。</p>	<p>・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。</p>

令和4年度 評価規準

※「表現リズム遊び」「ゲーム(〇〇ゲームなど)」は、運動例となります。

学校名: 江戸川区立篠崎第三小学校

ハードルリレー	6	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなコースを作り、走って跳び越したり、自分や友達の作ったコースでリレーをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードルリレーの行い方がわかる。 ・いろいろな間隔に並べられた高さの違う障害物を走り越えることができる。 ・リレーにおけるバトンの受け渡しをスムーズに行うことができる。 ・低い障害物を置いた蛇行したコースやまっ直ぐなコースをバランスよく最後まで調子よく走り越すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードルリレーのコースをいろいろな用具を使い、置き方を工夫して作っている。 ・ハードルリレーの感想や走り方のポイント、友達のよい走り方や引き継ぎ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードルリレーに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
高跳び遊び	5	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場を選んで、いろいろな跳び方で高く跳ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高跳び遊びの行い方がわかる。 ・片足や両足で連続して上方に跳ぶことができる。 ・助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って上方に跳ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高跳び遊びのいろいろな場を工夫して作っている。 ・自分の力に合った跳ぶ場を選んでいる。 ・高跳び遊びの感想や跳び方のポイント、友達のよい跳び方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高跳び遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳ぶ場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール投げ遊び	6	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場でボールを投げ、友達とボール投げ競争をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げ遊びの行い方がわかる。 ・体重移動を行い、ボールを遠くに投げるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを遠くに投げるための投げ方を工夫したり、練習の場を選んだりしている。 ・ボール投げ遊びの感想や投げ方のポイント、友達のよい投げ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げ遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・ボールを投げる場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
水遊び	8	<ul style="list-style-type: none"> ・約束を守って、いろいろな水遊びをする。 	<p>【水の中を移動する運動遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の中を移動する運動遊びの行い方がわかる。 ・水につかってのリレー遊び、鬼遊びなどで、水の抵抗や浮力に負けないように、自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりすることができる。 ・手で水をかいたり、足でプールの底を力強く蹴ったりジャンプをしたりしながら速く走ることができる。 <p>【もぐる・浮く運動遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もぐる・浮く運動遊びの行い方がわかる。 ・水に顔をつけたり、もぐって目を開けたりすることができる。 ・水中で息を止めたり吐いたりしながら、じゃんけんや輪くぐりなどのもぐる遊びをすることができる。 ・浮力に負けないように、手や足を使っていろいろな姿勢でもぐるることができる。 ・壁や補助具につかまったり、友達に支えてもらったりしていろいろな姿勢で浮くことができる。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進むことができる。 ・息を吸って止め、全身の力を抜いていろいろな姿勢で浮くことができる。 ・息を止めてもぐり、口や鼻から少しずつ息を吐きながら水面まで跳び上がって息をまとめて吐いた後、空中ですぐに吸ってまたもぐるすることができる。 ・膝を曲げたり伸ばしたりして、跳び上がる動きを繰り返すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくできる水遊びの場や遊び方を工夫し、選んでいる。 ・楽しくできるパプリングやポッピングの遊び方を工夫し、選んでいる。 ・友達の水中でのよい移動の仕方やもぐり方・浮き方を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 ・スムーズに歩いたり走ったりするために、方向や速さを変えるときの手や足の使い方を見付け、友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体(爪、耳、鼻、頭髮等)を清潔にしている。

令和4年度 評価規準

※「表現リズム遊び」「ゲーム(〇〇ゲームなど)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

宝取り鬼	5	・走り方や攻め方を工夫して、宝取り鬼をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼遊びの行い方がわかる。 ・相手(鬼)にタグを取られないように、空いている場所を見つけて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 ・相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく宝取り鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、宝を取るための攻め方を話し合っている。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宝取り鬼に進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール投げゲーム	6	・ボールの投げ方や攻め方を工夫してボール投げゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを投げたり、パスを出したり、得点したりすることができる。 ・ボールを捕ったり止めたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくボール投げゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのパスの仕方やボールの投げ方、攻め方を話し合っている。 ・友達がしているよい動きを見つけて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げゲームに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール運び鬼	6	・走り方や攻め方を工夫してボール運び鬼をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール運び鬼の行い方がわかる。 ・相手(鬼)にタグを取られないように、空いている場所を見つけて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 ・相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくボール運び鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、ボールをゴールまで運ぶための攻め方を話し合っている。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール運び鬼に進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール蹴りゲーム (キックベースボール)	6	・ボールを蹴って得点を入れたり、ボールを取ってアウトにしたりして、キックベースボールをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・キックベースボールの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 ・ボールを捕ったり止めたりすることができる。 ・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくキックベースボールをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合っている。 ・友達がしているよい動きを見つけて友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キックベースボールに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール蹴りゲーム (ドーナツ・サッカー)	6	・蹴り方や攻め方を工夫して、ドーナツ・サッカーをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ドーナツ・サッカーの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 ・ボールを止めることができる。 ・ボールが転がってくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくドーナツ・サッカーをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合っている。 ・友達がしているよい動きを見つけて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドーナツ・サッカーに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
表現遊び・遊園地へゴー!	4	・好きな遊園地の乗り物になりきって、全身で楽しく踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現遊びの行い方がわかる。 ・遊園地のいろいろな乗り物の様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ! 〇〇だ!」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊園地のいろいろな乗り物の特徴的な様子を捉え、表現したい乗り物の様子を選んでいる。 ・友達のよい動きを見つけて、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

令和4年度 評価規準

※「表現リズム遊び」「ゲーム(〇〇ゲームなど)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

<p>表現遊び・生き物ランドで変身!</p>	<p>4</p>	<p>・いろいろな生き物に変身して全身で楽しく踊る。</p>	<p>・表現遊びの行い方がわかる。 ・いろいろな生き物の特徴や様子を具体的な動きでいくつかに捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ! 〇〇だ!」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。</p>	<p>・いろいろな生き物の特徴的な様子を捉え、表現したい生き物の動きを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。</p>	<p>・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。</p>
<p>リズム遊び</p>	<p>4</p>	<p>・リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と一緒に踊ったりする。</p>	<p>・リズム遊びの行い方がわかる。 ・へそ(体幹部)でリズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動きを繰り返して即興的に踊ることができる。 ・タタロチカは、大きな掛け声をかけたり、友達の顔を見たりしながら元気に踊ることができる。</p>	<p>・手をたたいたり、ジャンプしたりなどの動きを取り入れたりして工夫している。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。</p>	<p>・リズム遊びに進んで取り組んでいる。 ・リズム遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。</p>

教科	特別活動	学年	第2学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級のめあてを決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★楽しい運動会にしよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期はどうでしたか(楽しい夏休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう(楽しい夏休みでしたか)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★楽しい篠三まつりにしよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりに粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
★楽しい学習発表会にしよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを振り返る(楽しい冬休みにしよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう(楽しい冬休みでしたか)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
もうすぐ3年生(楽しい春休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。 次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

教科	読書科	学年	第2学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本の世界を楽しもう やさいのことをしらべよう 昔話を読もう	12	<ul style="list-style-type: none"> ○読書を通して、野菜に興味をもち、意欲的に本を読むことができる。 ○調べたことや自分の考えを、分かりやすく表現することができる。 ○いろいろな昔話を探して読ことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜に関する本を探して読んでいる。 ○疑問の解決のために答えをカードに書き抜くことができる。 ○日本や世界の昔話を探して読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜に関する疑問を見付け、その解決に向けて情報を記録している。 ○自分の調べたいことについて考えをもち、分かりやすくまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで本を読み、調べようとしている。 ○野菜に関する疑問について、主体的に学んでいこうとしている。 ○進んで昔話を探して読もうとしている。
どうぶつはかせになろう あまんきみこの本を読もう	15	<ul style="list-style-type: none"> ○動物園で見てきた動物に興味をもち、その動物について疑問を太陽チャートに書くことができる。 ○一番知りたい疑問を調べることができる。 ○調べたことをリーフレットにまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物に関するいろいろな本をさがして読んでいる。 ○疑問の解決のために、答えをカードに書き抜くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な生活や体験の中から、生き物に関する疑問を見つけている。 ○動物について調べたことや自分の考えをリーフレットにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで本を読み、調べようとしている。 ○動物に関する疑問について、主体的に学んでいこうとしている。
おもちゃはかせになろう レオ・レオニの本を読もう おはなしびじゅつかんをつくらう	8	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの物を使っておもちゃを作ることができる。 ○一年間の読書を振り返り、一番心に残った本を選ぶことができる。 ○その本の中で一番心に残った場面を選ぶことができる。 ○登場人物や簡単なあらすじをまとめ、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本を読み、自分の作りたいおもちゃを探している。 ○読んだ本を読書記録ノートに記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おもちゃの簡単な作り方を紹介している。 ○一番心に残った場面にふさわしいタイトルを考えている。 ○登場人物やあらすじをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作りたいおもちゃが載っている本を進んで読もうとしている。 ○進んで本を読み、本の良さを伝えようとしている。